

ネット通販の現状と問題

2018年9月14日

F3G5201

えべ

目次

- ネット通販とは
- 現状
- 問題
- まとめ
- 参考文献

ネット通販とは

- インターネット上での通信販売。決済方法はクレジットカードや銀行振り込み、代金引換、コンビニエンスストアでの決済、電磁マネーなどで出来る。(1)
- 例として、価格.com、Amazon、楽天市場、ZOZOTOWN、Yahoo!ショッピング等々…(1)

現状 1-1

- ネット通販は、2010年から2017年まで右肩上がり成長。(2)



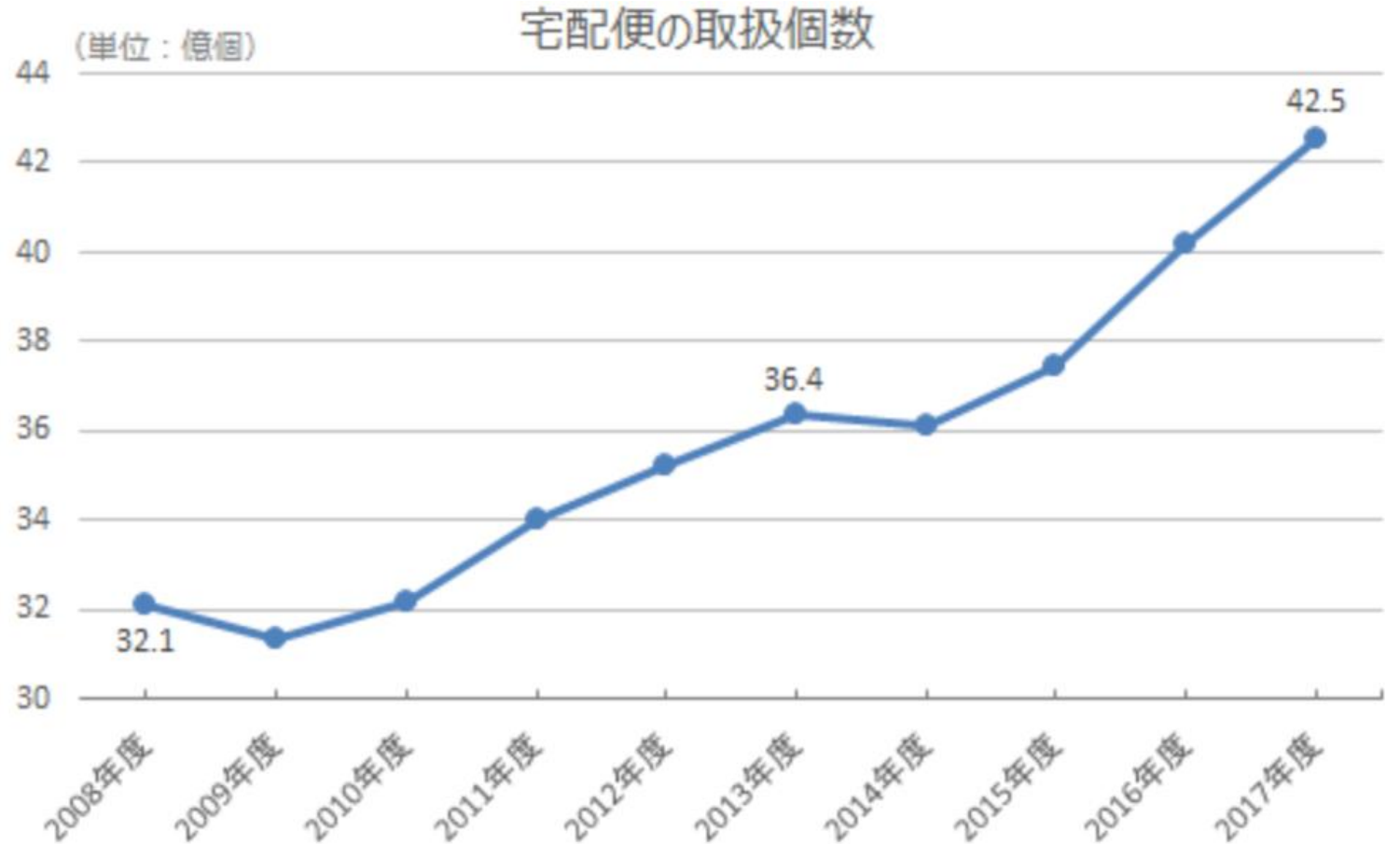
出典:<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180425001/20180425001.html>

現状 1-2

- なぜ伸びているのか
- Amazon、楽天、Yahoo!などの総合サイトを頂点に、総合サイトに商品を出店する個人商店。衣類に特化した専門サイトなどが増えてきている。(3)
- 事業者にとっても店舗をもつ必要がなく、**ネット上に商品を出すだけ**でビジネスを始めることができるため。(3)
- 店舗では買えないようなものもネットでは探すことができ、スマートフォンでの普及などでも利用が可能。また品数が多い、そういった面が**消費者に支持されているから**。など(3)(4)

問題 1-1

- 最も問題となっている**再配達問題**。(5)
- 2008年から2017年まで約10年で3割以上増えており急速な伸びを示している。(5)



問題 1-2

- ドライバー不足。2018年7月の時点でトラックドライバーの有効求人倍率は2.93。これは2018年7月の全体求人倍率の約2倍。(6)
- 労働力に換算すると年間約9万人の労働力に相当。CO₂おそよ42万トンの排出量、環境に負担をかけている。(5)
- 市場規模に比例し、荷物は増加。全体配達量（2017年度約42.5億個）の約2割は再配達であり、宅急便の生産性を低下させている。(5)

問題 1-3

どう対策するか

- マンションだけではなく、コンビニエンスストアや駅などに宅配ボックスを設けることにより、利用者自身の都合で商品を受け取ることが必要。または、時間指定など(8)



- 労働力、CO₂の排出量を削減できる。同時に宅配便会社にとっても再配達コストの削減になる。(7)
- そこまで利用されていないのが現実。再配達削減には消費者の協力も必要。(5)

まとめ

- ネット通販の市場規模は、右肩上がり伸びている。理由としては、スマートフォンの普及により何処でも利用が可能であり、事業者は店舗を持つ必要がなくビジネスを始めやすい。(2)(3)(4)
- 再配達問題は、労働力だけではなく環境にも負担をかけている。対策として、コンビニ利用、宅配ボックスを設けることで再配達を少しでも減らしたいが、それには消費者の協力も必要。(5)(7)(8)

参考文献

- (1) 通信販売, Wikipedia, 2018-09-12, <https://ja.wikipedia.org/wiki/通信販売>
- (2) 経済産業省, 国内電子商取引市場規模, 2018-09-13, <http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180425001/20180425001.html>
- (3) 高山隆司, ネット通販は「物流」が決め手!, ダイヤモンド社, 2015
- (4) 総務省, 数字で見るスマートフォン利用状況, 2018-09-13, <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc111110.html>
- (5) 国土交通省, 宅配便の再配達削減に向けて, 2018-09-13, http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/re_delivery_reduce.html
- (6) 厚生労働省, 一般職業紹介状況, https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212893_00006.html
- (7) 環境省, COOL CHOICE, 2018-09-13, <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/butsuryu/>
- (8) 斎藤実, 物流ビジネス最前線, 光文社, 2016